

## Interview : 菱井工業の挑戦！！『グリーン鋼材クレーン』とは？

本社の寺崎です。今回は、ホイスト搭載クレーン最大手である菱井工業(株)に訪問させていただきました。脱炭素社会に合わせた画期的な製品『グリーン鋼材クレーン』のお話を國島専務からお聞きすることができました。スゴイですよ！



## クレーンと言えば…菱井工業株式会社様(大阪府東大阪市)

**寺崎:** 御社のことについて教えてください。

**國島:** クレーン製造業者であり、主に工場向けに鉄鋼運搬用の天井クレーンを提供しています。最近はグリーン鋼材を使用した脱炭素クレーンに力を入れ、鉄鋼・産業新聞に取り上げられました！！

**寺崎:** おめでとうございます！！そもそも脱炭素クレーンの製造に踏み切ったきっかけは、あるのでしょうか。またSBTを取得していただきましたが、そのあたりも教えてください。

**國島:** 製鉄メーカーが脱炭素社会に向けて、CO<sub>2</sub>を排出しない新たな鉄の製造に取り組み始めました。この流れは今後、確実に主流になると感じました。

当社のクレーン製造は、鉄鋼関連製造請負工事業に分類され、製品の8割以上が鉄で構成されています。そうした中で、製鉄メーカーが取り組む脱炭素化に、我々も歩調を合わせるべきだと考え、昨年より脱炭素クレーンの製造へと切り替えました。脱炭素に本格的に取り組む以上、国際的な認証であるSBT取得や、CO<sub>2</sub>排出量の管理も重要だと考え取り組んでいます。

**寺崎:** 素晴らしいですね！！最後に今後会社として強化したいところは、どのようなところでしょうか。

**國島:** 人材！！！！に限ります。特に営業部を強化していきたいです。

良い製品を製造できても製品を売れる人がいないと、会社は伸びていきません。人材の確保と売上が上がった分を社員に還元できるように頑張っていく所存です。

奈良東鉄社長(左から2人目)、  
クレーンを製作した池田鉄工の  
池田良信社長(右から2人目)、



「SBT認  
証」を取  
得。脱炭  
素カー  
ターの  
製造に  
も対応  
し、厚  
板・極  
厚板  
溶断加  
工業  
大手の  
中嶋  
産業向  
けに  
日本製  
鉄お  
よび神  
戸製  
鋼所の  
グリーン  
鋼材を  
母材と  
する

▲2025年7月30日付 鉄鋼新聞



▲脱炭素宣言(大阪府) (ゼロプラス作成)

会社名:菱井工業株式会社  
住所:東大阪市新鴻池町2番2号  
電話番号:072-961-1565  
会社HP:  
<https://www.hishiikogyo.co.jp/>

## 1Up Column インフレ時代の財務戦略③ 損益分岐点管理編

コスト高騰が続く中、「価格転嫁」の判断は避けて通れません。しかし実際には全てを売価に反映できるとは限らず、吸収を求められる場面が多いです。ここで見落としはならないのが、価格転嫁の度合いが、変動費比率と損益分岐点に直結する点です。

たとえば原材料費が10%上昇し、そのうち5%しか価格転嫁できなければ、残りの5%分の変動費比率が上昇し、限界利益率(粗利率)が低下します。その結果、損益分岐点売上高は上がり、同じ売上高でも利益が出にくくなる構造に陥ります。ゆえに「変動費比率がどう動くか」を分析したうえで、損益分岐点を再計算し、現状の売上水準で利益確保が可能かどうかを見極めることが重要になります。

加えて、価格転嫁が難しい場合には、固定費の見直しや製品構成の最適化を含め、利益構造そのものを再設計する必要があります。つまり経営の「収支バランス感覚」が問い直されている局面といえます。

なお、得意先に価格転嫁を依頼する際は、根拠と提案をセットで提示することが重要です。当社代表の大場は「インフレ時代の価格交渉術」の著者であり、価格交渉についてお悩みがあれば、ぜひお気軽にご相談ください。



当社HP	Youtube	CO2比較.com	Instagram	公式LINE
ゼロプラスの歴史や事業内容についてチェック	当社の会社紹介や脱炭素セミナーの様子をチェック	脱炭素の情報はこちらをチェック	Instagram始めました！	補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！
				ゼロプラス公式 大場社長公式

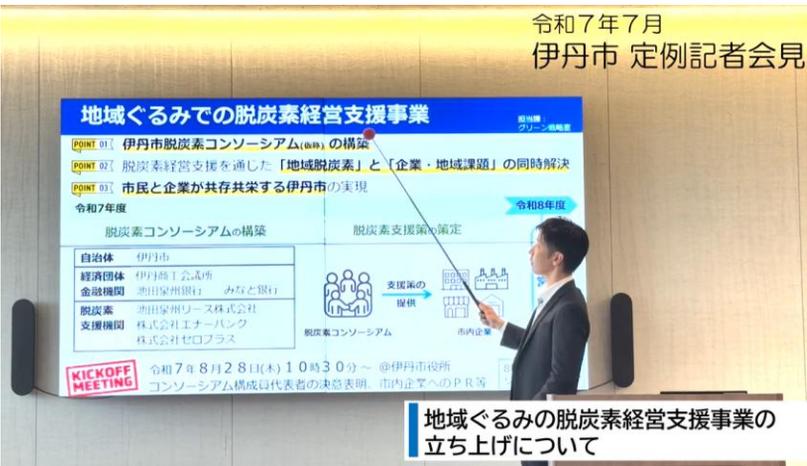
問い合わせ先  
 〒 664-0858  
 兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F  
 TEL 072-764-5340  
 FAX 03-6800-5265  
 Mail info@zeroplus-consul.co.jp

## 伊丹市と脱炭素政策での連携を強化！

ゼロプラスはこの度、伊丹市が進める「地域ぐるみの脱炭素経営支援事業」に参加することが決定しました。今までは中小企業の脱炭素を支援することを主たる事業として行っておりましたが、自治体との関係も強化していきます。大手企業のサプライヤーへのCO2排出量算定調査票等の展開は、調達部門の人手不足等により遅れています。



令和7年8月28日  
キックオフMTG  
プレスリリース



その影響もあり、中小企業も脱炭素への取り組みに対して、二の足を踏んでいる状況に陥っています。

しかし一方で、大手企業からScope3やCBAMなどの対応を求められている中小企業も増加傾向にあり、大きく2極化しています。この状況を少しでも改善することを軸に、伊丹市との政策を進め実績を作り、中小企業が脱炭素への取り組みを進めやすくなる方法を官民連携して、取り組んでまいります。

出典:伊丹市 定例記者会見「YouTube」より抜粋

2025香川どてらい市 出展いたします！最新の補助金情報や脱炭素・省エネについて相談がありましたら、弊社ブースまで是非お越しください！





香川どてらい市  
公式HP

開催日:2025年9月5日(金)、6日(土)

## 代表から一言

10月から最低賃金が過去最大の上げ幅63円アップします。全国平均で1118円、1000円以下の都道府県もなくなります。さらに政府は2029年10月に時給1500円へ上げるよう計画しています。政府与党の他、主要野党も時給1500円への到達は表明しており、こうした政治状況から上記の方針はほぼ確定していると認識しましょう。

日本はすでに毎年大幅な人口減少状態であり来年の総人口は1.2億人を割りこみます。こうした人手不足の状況で最低賃金の人だけ給料を上げる訳にはいきませんから、一般的な工員さんの初任給は35万円ぐらいに上がるでしょう。

毎年7%程度の賃上は覚悟して経営計画を立てないと会社が潰れてしまいます。つまり毎年7%以上時間チャージを改善する必要があります。

7%の原資は、値上げなのか？省力化なのか？業務改善なのか？

ゼロプラスでは、価格交渉、省力化・自動化提案、業務改善、それぞれに対してコンサルティングを行っています。お気軽にご相談ください。

